



# ようこそ♪Mikke Nursery Schoolへ

## ご利用にあたって サービスの流れ

子どもの「やってみたい」「やりたい」気持ちを損なわないようにすることをベースにしながら、生きていくために必要なスキルを身につけていくことができます。

### 通所(登園)

- ①10:00～
  - ②13:00～
  - ※45～60分ショート可
- 個別の状況を大切にしています。

- ★あさの会
- ★おなまえ・あいさつ
- ★リズム遊び (ブンバボンなど♪)
- ★おうたのじかん (おべんとうの歌・バスの歌など)
- ★オルゴールタイム (クールダウン・きりかえ動機づけ)



### 個別タイム

- ①10:20～
  - ②13:20～
  - ※45～60分ショート可
- 個別の状況を大切にしています。



- ★個別支援スタート (10分～適宜様子を見て)
- =====
- (個別以外)
- ★じゅうあそび
- ★ボールプール・段ボールバス・キャタピラーなど大きな動きのあそび
- ★ブロック・つみき・パズルなどの指先のあそび

### 集団タイム

お一人一人に合わせた個別支援プログラムを実施します。環境による余計なしげきをできるだけ与えないように配慮しながら、よい反応をつくっていきます。理論に基づき、ほめることでやる気を引き出します。

2～3人の少ない人数で、一緒にかんがえたり、つたえたり、からだをうごかしたりすることなど、練習をしていきます。少ない人数の中で、「楽しい」環境で学ぶことで集団での生活にむけてのスキルを、少しずつ獲得していきましょう。

### さようなら★



- ★ (おべんとうタイム/おやつタイム・持ち込み可)
- ★ (はみがきタイム)
- ★お帰りの会・シール貼り、手あそび、よみきかせ
- =====
- つたえたい!ほめられたい!の気持ちを大切にします
- レクチャー・注視活動
- (よこく・みる・きく・こたえる・つたえる)
- \*視覚\*模倣\*声と音ききとり\*やりとり:表現・音楽



### お友達と楽しく遊ぶことも 発達へのアプローチ

つつい、普段の生活の中では、見ていて危険、片づけるのが大変といった理由で、「だめだめ」と言うてしまうこともあります。おともだちと関わるシーンでも、普段ならひやひやしてしまっ、見守りきれないこともあるでしょう。

Mikkeでは、さまざまな遊びを通して、コミュニケーションの「練習」をしていきます。同時に体を存分に動かしたり、手指を使ったりする中で、脳の発達にも働きかけます。「面白い!」「やった〜!」「一緒にできたね!」の毎日を積み重ねます。



児童発達支援事業所

**Mikke**  
Nursery School

ぱぱ・ママが一番気になっていること、それは日常生活における動作に関することが多いです。「食べる」ことに関する、「おトイレ」の問題など、お子さんが生きていくために、または集団生活において最低限自分のことが自分でできるようになってほしい・・・そのために少しでも早くなにかはじめたい、支援してほしいと思われています。発達に不安があるお子さんたちにおいては、動作について、単なる練習不足で出来ないというよりも、「感覚統合」に関する問題や、からだの使い方、筋肉の使い方の学習不足によってスムーズにできないことも・・・。

私たちは、感覚統合の視点や運動能力の視点からもアプローチをはかり、お子さんの苦手さのサポートをしていきます。

#### 【感覚統合】

★まねてみる・やってみるステップ1

①からだをつくる ②バランスをとる ③しせいをたもつ

★まねてみる・やってみるステップ2

①うんどうのくりかえし ②こうさくにトライ

#### 【手指身体の連動】

★ゆびさきをうごかすステップ1

①にぎり ②(はさみ) ③おやゆびもち ④ゆびさき ⑤えんぴつ

★しんたいをうごかすステップ2

①じゅうしんいどう ②バランスをとる ③おもうようにそうさ

#### 【日常の動作】

★きがえ★しょくじ★えいせい(てあらい・うがい・おトイレ)

まずはMikkeで、ちいさな一歩はじめてみませんか。療育は決して特別なことではなく、理論に基づいた特性を踏まえた「よいかかわり」「よいかんきょう」が体験できる場です。障がいのあるなしに関わらず、お子さんに悪影響があるような取組みではありません。気負わず一緒に、成長を見守っていただけたいですね。



お子さんの心のキャンパスいっぱい、  
毎日大きな“はなまる”がつくような  
日々をお届けします。